

KOBELCO

神戸製鋼の
冷延鋼板



株式会社 **神戸製鋼所**

私たちの社会、生活を支える、神戸製鋼の冷延鋼板。

冷延鋼板は自動車、テレビ、エアコン、冷蔵庫、工具など日常生活に欠くことのできない必需品の素材材料として、広く利用されております。生活文化が著しく向上し、これらの日用製品の多様化、高級化ならびに素材材料の加工技術の進歩にともない、冷延鋼板に対して、非常に厳しい品質が要求されるようになってまいりました。

神戸製鋼は加古川製鉄所における一貫した品質管理によって、さまざまな特徴を備えた冷延鋼板を製造しております。

神戸製鋼はお客様にご満足いただけますよう不断の努力を重ねておりますので、今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

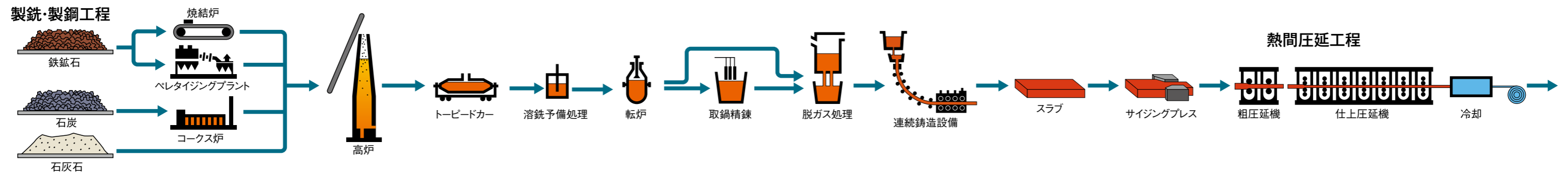
目次

製造工程	2
種類・製造可能範囲	
冷間圧延鋼板	6
加工用冷間圧延高張力鋼板	8
梱包および表示	11
試験方法	12
質量換算表	14
ご注文の手引き・連絡先	16

ご注意及びお願い

本資料に記載された技術情報は、弊社製品の一般的な特性や性能を説明するためのものであり、それによって、何らかの保証をするものではありません。
本資料に記載された技術情報は使用される目的、環境及び条件等によりあてはまらないことがありますので、ご注意願います。
本資料は予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については弊社各担当部署までお問い合わせ下さい。

製造工程



高炉



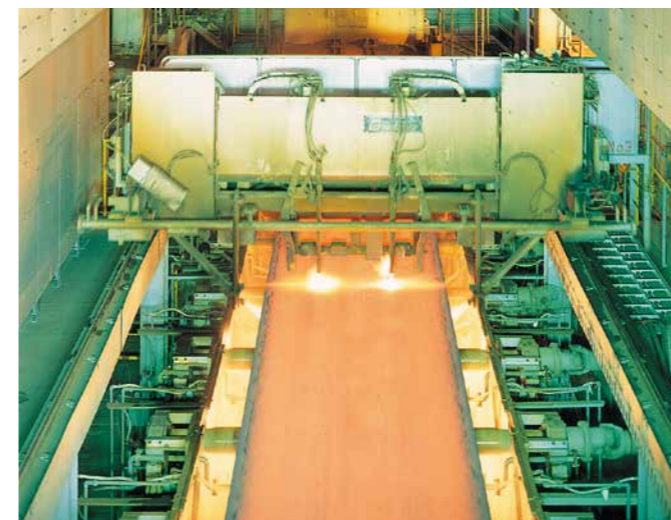
転炉



RH真空脱ガス装置



連続鑄造設備 (入側)

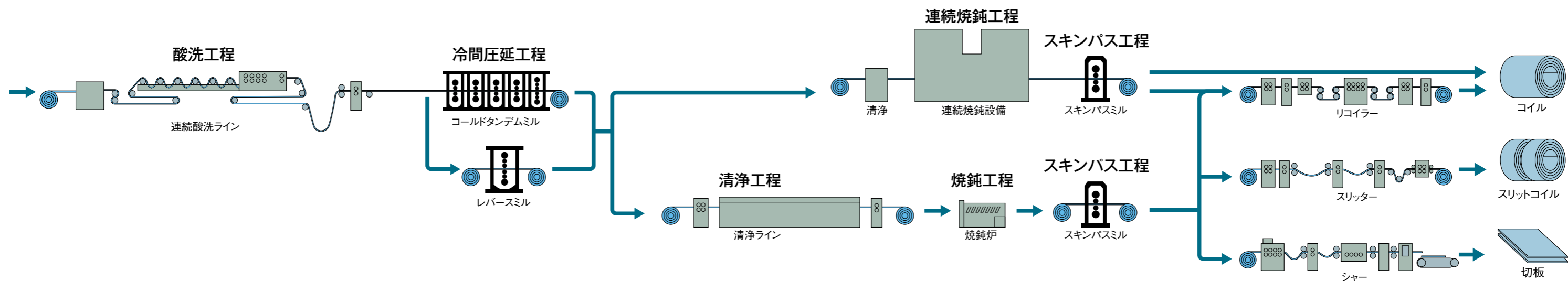


連続鑄造設備 (出側)



ホットストリップミル

製造工程



連続酸洗ライン



コールドタンデムミル



連続焼鈍設備



No.5リコイラー



レバースミル



UADバッチ式焼鈍炉

種類・製造可能範囲

冷間圧延鋼板

種類の記号		適用	引張強さ (N/mm ²)	伸び (%)										引張試験片					
				厚さ (mm)															
JIS規格	神鋼規格			0.20以上	0.25未満	0.25以上	0.30未満	0.30以上	0.40未満	0.40以上	0.60未満	0.60以上	1.0未満	1.0以上	1.6未満	1.6以上	2.5未満	2.5以上	
SPCC		一般用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	KPY-1	軽度の絞り用	270以上	—	—	—	—	—	—	—	—	36以上	37以上	38以上	—	—	—	—	—
	KPY-2	絞り用	270以上	—	—	—	—	—	—	—	—	38以上	39以上	40以上	—	—	—	—	—
SPCD		絞り用	270以上	27以上	30以上	33以上	36以上	38以上	39以上	40以上	41以上	42以上	43以上	44以上	45以上	—	—	—	—
SPCE		深絞り用	270以上	29以上	32以上	35以上	38以上	40以上	41以上	42以上	43以上	44以上	45以上	46以上	—	—	—	—	—
SPCF ^{a)}		非時効性深絞り用	270以上	—	—	—	—	40以上	42以上	43以上	44以上	45以上	46以上	—	—	—	—	—	—
SPCG ^{a) b)}		非時効性超深絞り用	270以上	—	—	—	—	42以上	44以上	45以上	46以上	—	—	—	—	—	—	—	—

注 a) SPCFおよびSPCGは、製造工場出荷後6か月間、非時効性を保証する。ただし、注文者の要請によって、出荷が遅れた場合は、当初の出荷予定日から6か月間とする。非時効性とは、時効が起こらないことをいう。時効とは、通常、経時変化によって上表の伸びが満足できなくなることを、又は加工時にストレッチャストレインを発生することをいう。
b) SPCGは、通常IF鋼で製造する。なお、IF鋼とは固溶するCおよびNが極力少なくなる方法で製造した鋼をいう。平均塑性ひずみ比 $\bar{\epsilon}$ については、1.5以上(厚さ0.50以上1.0以下)、1.4以上(厚さ1.0を超え1.6以下)。

製造可能範囲

用途等により若干製造可能範囲が変わりますのでご相談ください。

図-1 SPCC ※ の範囲はご相談ください。

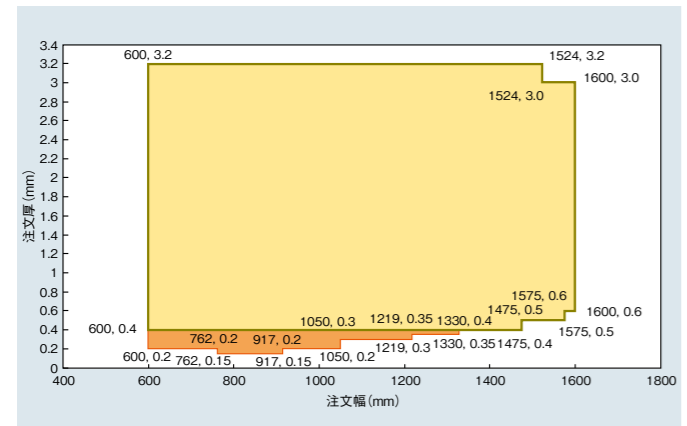
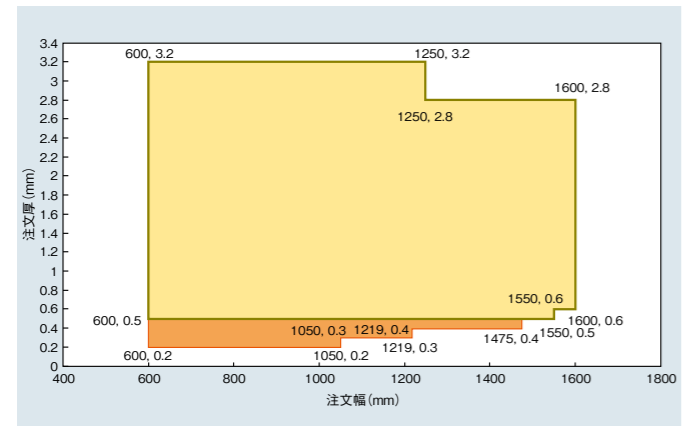


図-2 SPCD、SPCE、KPY-1、KPY-2 ※ の範囲はご相談ください。



硬質材

調質区分	硬さ		曲げ試験	
	HRB	HV	曲げ角度	内側間隔枚
1/8硬質	50~71	95~130	180°	0(密着)
1/4硬質	65~80	115~150	180°	1
1/2硬質	74~89	135~185	180°	2
硬質	85以上	170以上	—	—

寸法の許容差 (JIS G 3141)

(1) 厚さの許容差 単位mm

厚さ	幅	600未満	600以上 1000未満	1000以上 1250未満	1250以上 1600未満	1600以上
0.25未満		±0.03	±0.03	±0.03	—	—
0.25以上 0.40未満		±0.04	±0.04	±0.04	—	—
0.40以上 0.60未満		±0.05	±0.05	±0.05	±0.06	—
0.60以上 0.80未満		±0.06	±0.06	±0.06	±0.06	±0.07
0.80以上 1.00未満		±0.06	±0.06	±0.07	±0.08	±0.09
1.00以上 1.25未満		±0.07	±0.07	±0.08	±0.09	±0.11
1.25以上 1.60未満		±0.08	±0.09	±0.10	±0.11	±0.13
1.60以上 2.00未満		±0.10	±0.11	±0.12	±0.13	±0.15
2.00以上 2.50未満		±0.12	±0.13	±0.14	±0.15	±0.17
2.50以上 3.15未満		±0.14	±0.15	±0.16	±0.17	±0.20
3.15以上		±0.16	±0.17	±0.19	±0.20	—

(2) 幅の許容差 単位mm

幅	区分	幅許容差 A
1,250未満		+7 -0
		+10 -0

(3) 長さの許容差 単位mm

長さ	区分	長さ許容差
2,000未満		+10 -0
		+15 -0
2,000以上 4,000未満		+20 -0

形状 (JIS G 3141)

(1) 平たん度 (最大値) 単位mm

呼び幅による区分	ひずみの種類			
	反り	耳のび	中のび	
1,000未満	12	8	6	
1,000以上 1,250未満	15	9	8	
1,250以上 1,600未満	15	11	8	
1,600以上	20	13	9	

(2) 横曲り (最大値) 単位mm

呼び幅による区分	鋼板		鋼帯
	長さ2,000未満	長さ2,000以上	
30以上 40未満	8	任意の長さ2,000につき8	
40以上 600未満	4	任意の長さ2,000につき4	
600以上	2	任意の長さ2,000につき2	

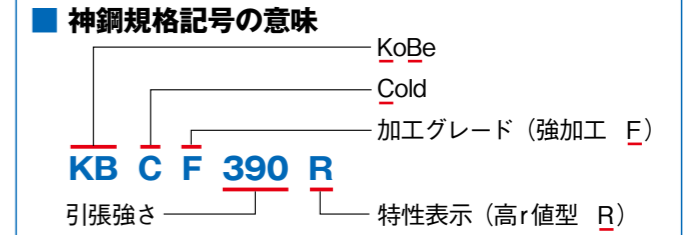
表面仕上げ

表面仕上げ区分	表面仕上げ記号	摘要
ダル仕上げ	D	物理的または化学的に表面を粗くしたロールで、つや消し仕上げされたもの
ブライツ仕上げ	B	滑らかに仕上げたロールで、平滑仕上げされたもの

焼きなましのままの鋼板および鋼帯には、この表は適用しない

種類・製造可能範囲

加工用冷間圧延高張力鋼板



下表以外にも各種取り揃えておりますのでご相談ください。

規格		特長	引張強さ (最小値) (N/mm ²)	降伏点または 0.2%耐力 (最小値) (N/mm ²)	伸び (最小値) (%)		塗装焼付硬化量 (N/mm ²)	曲げ試験 曲げの内側半径	r 値				n 値
JIS規格 (JIS G 3135)	神鋼規格				厚さ (mm)				厚さ (mm)				
					0.6以上1.0未満	1.0以上2.3以下			0.7	1.2	1.6	2.3	
SPFC340	KBCF340	絞り加工用	340	175	34	35	—	密着	—	—	—	—	—
SPFC340H	KBCF340RBH	焼付硬化型	340	185	34	35	30以上	密着	(1.7)	(1.6)	(1.5)	—	—
SPFC370	KBCF370	絞り加工用	370	205	32	33	—	密着	—	—	—	—	—
SPFC390	KBCF390	加工用	390	235	30	31	—	密着	—	—	—	—	—
—	KBCF390R	絞り加工用	390	225	31	33	—	密着	(1.6)	(1.5)	(1.4)	—	—
SPFC440	KBCF440	加工用	440	265	26	27	—	密着	—	—	—	—	—
SPFC490	KBCF490	加工用	490	295	23	24	—	密着	—	—	—	—	—
SPFC540	KBCF540	加工用	540	325	20	21	—	厚さの0.5倍	—	—	—	—	—
SPFC590	KBCF590	加工用	590	355	17	18	—	厚さの1.0倍	—	—	—	—	—
SPFC490Y	KBCF490D	低降伏比型	490	225	24	25	—	密着	—	—	—	—	[≥ 0.20]
SPFC540Y	KBCF540D	低降伏比型	540	245	21	22	—	厚さの0.5倍	—	—	—	—	[≥ 0.20]
SPFC590Y	KBCF590D	低降伏比型	590	265	18	19	—	厚さの1.0倍	—	—	—	—	[≥ 0.20]
SPFC780Y	KBCF780D	低降伏比型	780	365	13	14	—	厚さの3.0倍	—	—	—	—	—
SPFC980Y	KBCF980D	低降伏比型	980	490	6	7	—	厚さの4.0倍	—	—	—	—	—

備考：1. 焼付硬化量 (BH量) は2%予歪後、170℃×20分間加熱処理前後の降伏点上昇量を示します。 2. () 付の数値は目標値、[] 付の数値は参考値です。

3. 引張試験はJIS 5号試験片、引張方向は圧延方向に直角です。 4. 曲げ試験はJIS 3号試験片、曲げ方向は圧延方向に直角、曲げ角度は180°です。

製造可能範囲

用途等により若干製造可能範囲が変わりますのでご相談ください。

図-3 SPFC、SPCG

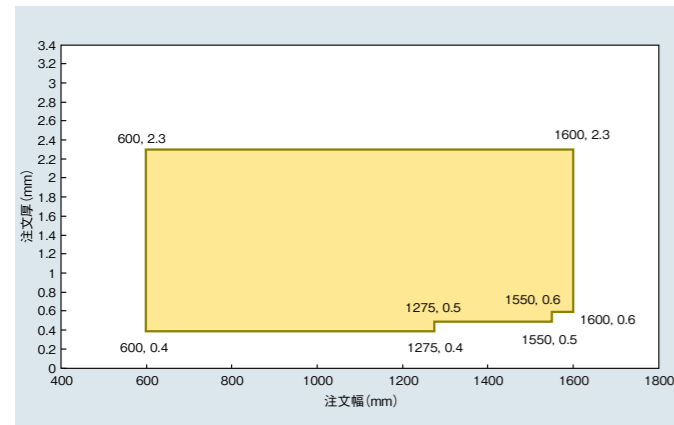


図-5 SPFC370、SPFC390 ※ の範囲はご相談ください。

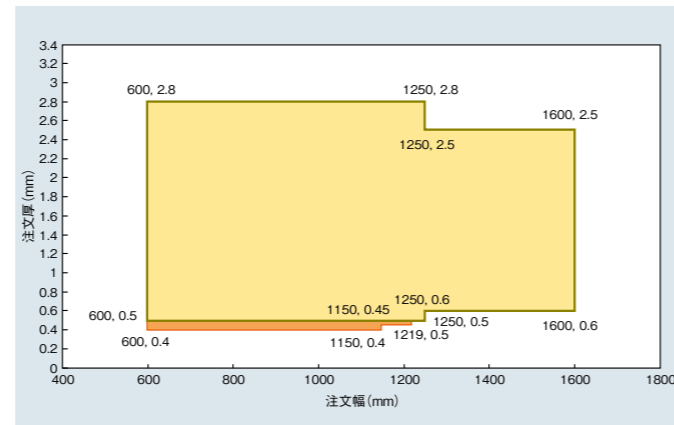


図-7 SPFC590、SPFC590Y

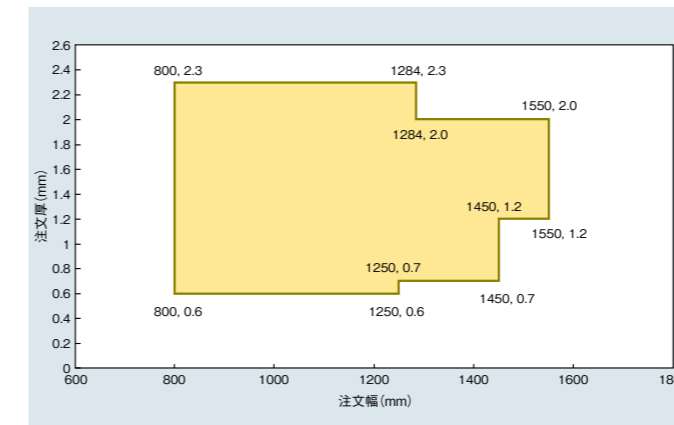


図-9 SPFC980Y ※ の範囲はご相談ください。

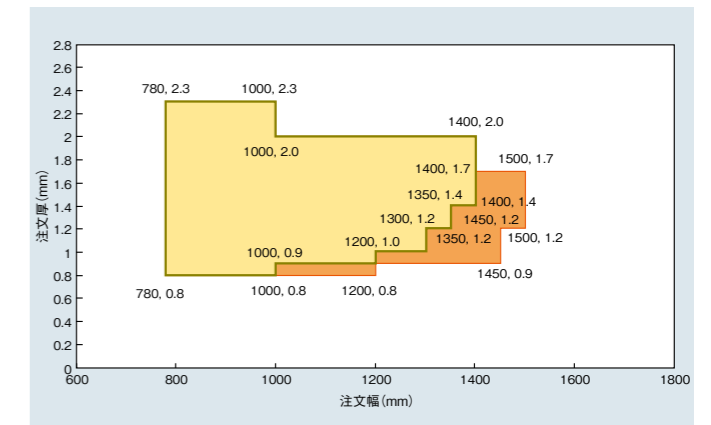


図-4 SPFC340 ※ の範囲はご相談ください。

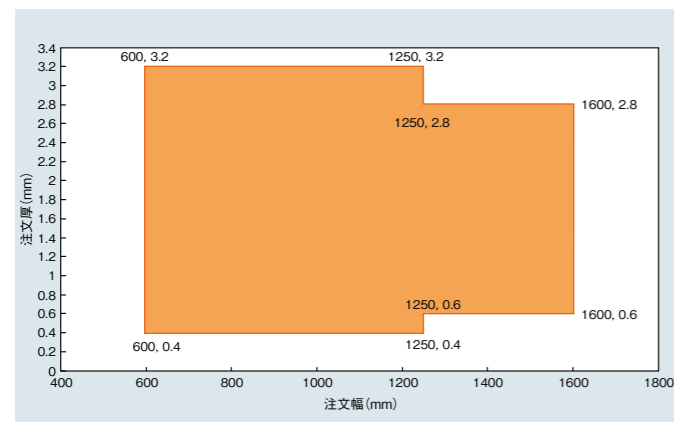


図-6 SPFC440

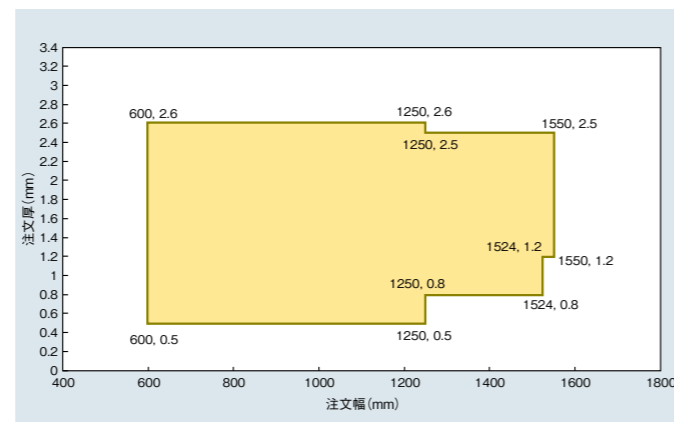
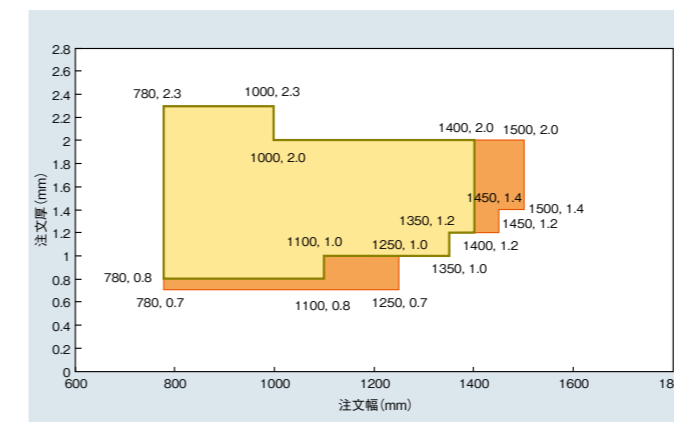


図-8 SPFC780Y ※ の範囲はご相談ください。



種類・製造可能範囲

■ 寸法の許容差 (JIS G 3135)

(1) 厚さの許容差

引張強さによる適用区分	厚さ	幅				
		630未満	630以上 1000未満	1000以上 1250未満	1250以上 1600未満	1600以上
引張強さの規格下限が780N/mm ² 未満のもの	0.60以上 0.80未満	±0.06	±0.06	±0.06	±0.07	±0.08
	0.80以上 1.00未満	±0.07	±0.07	±0.08	±0.09	±0.10
	1.00以上 1.25未満	±0.08	±0.08	±0.09	±0.10	±0.12
	1.25以上 1.60未満	±0.09	±0.10	±0.11	±0.12	±0.14
	1.60以上 2.00未満	±0.10	±0.11	±0.12	±0.14	±0.16
引張強さの規格下限が780N/mm ² 以上のもの	2.00以上 2.30以下	±0.12	±0.13	±0.14	±0.16	±0.18
	0.80以上 1.00未満	±0.09		±0.10	—	
	1.00以上 1.25未満	±0.10		±0.12	—	
	1.25以上 1.60未満	±0.12		±0.15	—	
	1.60以上 2.00以下	±0.14		±0.16	—	

(2) 幅の許容差

幅	区分	幅許容差 A
1,250未満		+7
		-0
1,250以上		+10
		-0

(3) 長さの許容差

長さ	区分	長さ許容差
2,000未満		+10
		-0
2,000以上 4,000未満		+15
		-0
4,000以上 6,000未満		+20
		-0

■ 形状 (JIS G 3135)

(1) 平たん度 (最大値)

幅	ひずみの種類 等級	反り			耳のび			中のび		
		1	2	3	1	2	3	1	2	3
1,000未満	12	16	18	8	11	12	6	8	9	
1,000以上 1,250未満	15	19	21	10	12	13	8	10	11	
1,250以上 1,600未満	15	19	21	12	14	15	9	11	12	
1,600以上	20	—	—	14	—	—	10	—	—	

備考：等級1、等級2、等級3は引張強さの規格下限がそれぞれ780N/mm²未満、780N/mm²、980N/mm²の鋼板に適用します。

(2) 横曲り (最大値)

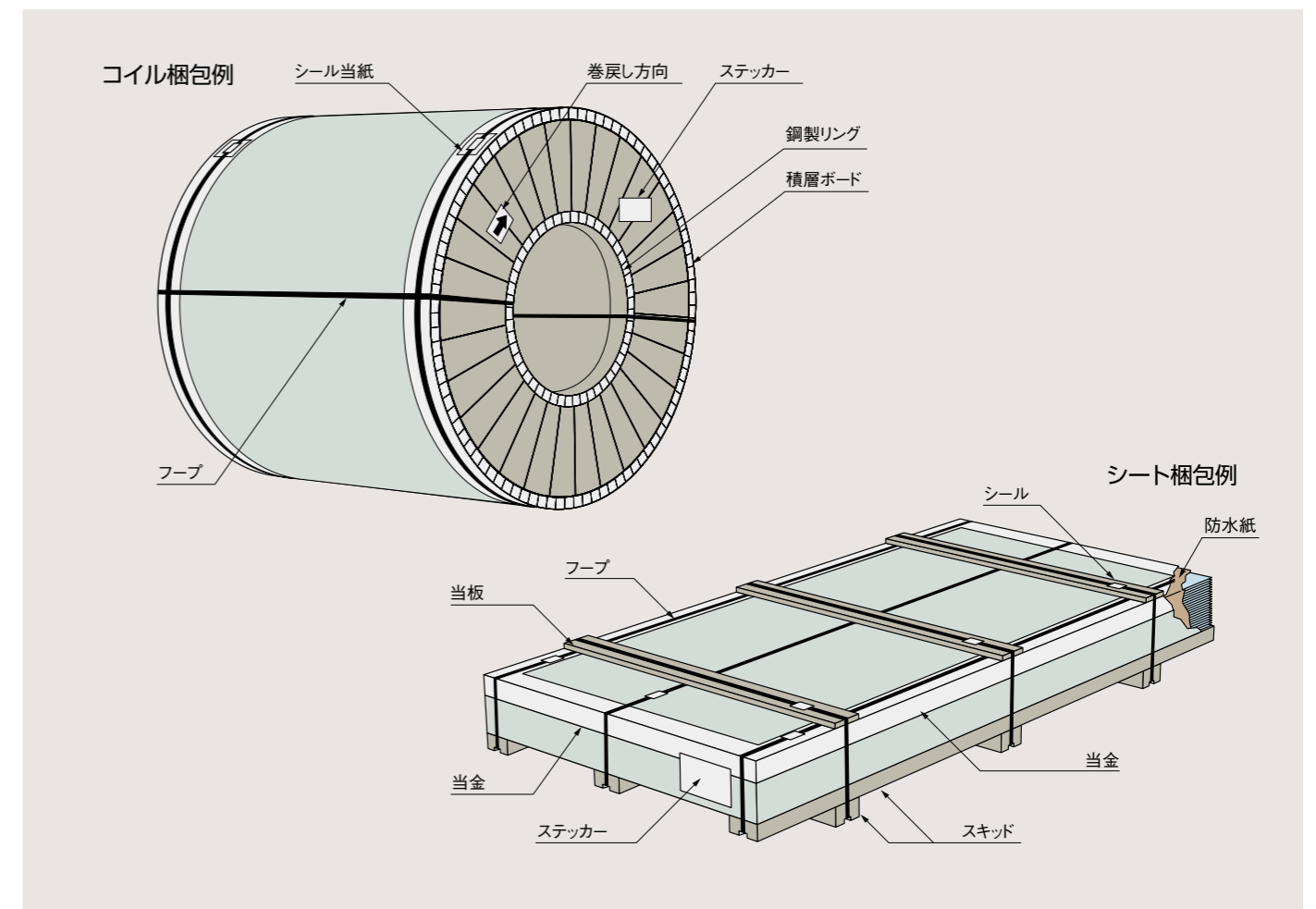
引張強さによる適用区分	鋼板・鋼帯の区別	鋼板		鋼帯
		長さ2,000未満	長さ2,000以上	
引張強さの規格下限が780N/mm ² 未満	630未満	4	任意の長さ2,000につき4	
	630以上	2	任意の長さ2,000につき2	
引張強さの規格下限が780N/mm ² 以上	630未満	4	任意の長さ2,000につき4	
	630以上	3	任意の長さ2,000につき3	

■ 表面仕上げ

表面仕上げには細ダル仕上げと中ダル仕上げがあります。

梱包および表示

■ 梱包例



■ ステッカー表示

ステッカーとサービスカード

梱包外装にはステッカーとサービスカードに規格・梱包番号・寸法・質量・枚数 (切板製品のみ)・等級・お客様名などを表示します。

KOBELCO 冷延鋼板		JIS 1級		鋼	
規格 SPCC-SD		JIS G 3135 G40507017		供給者企業コード (1V) 150007140043	
寸法 1,000 X 1219 X COIL		772148		現品番号 (S) 772148	
質量 (正味) 9020 KG				質量/異径 (G) 9020 1	
製造日 20110901	管理# X55076			JISI A-1 (株) 神戸製鋼所	
株式会社 神戸製鋼所 加古川製鉄所					

試験方法

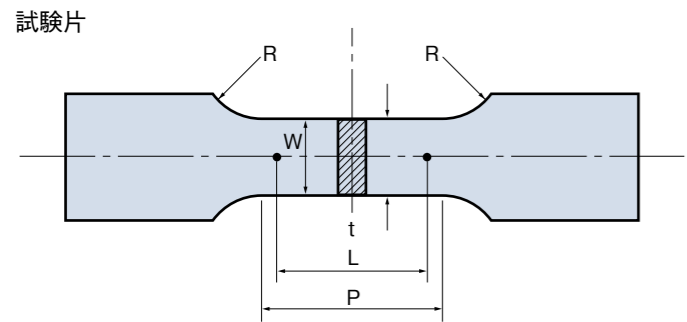
冷延鋼板の性質を測定する主な試験方法は以下のとおりです。

(1) 引張試験

引張試験は鋼材の性質を知る上で最も基礎的でしかも重要な試験です。

通常の引張試験では試験片を徐々に引っ張り、破断するまで試験を行います。

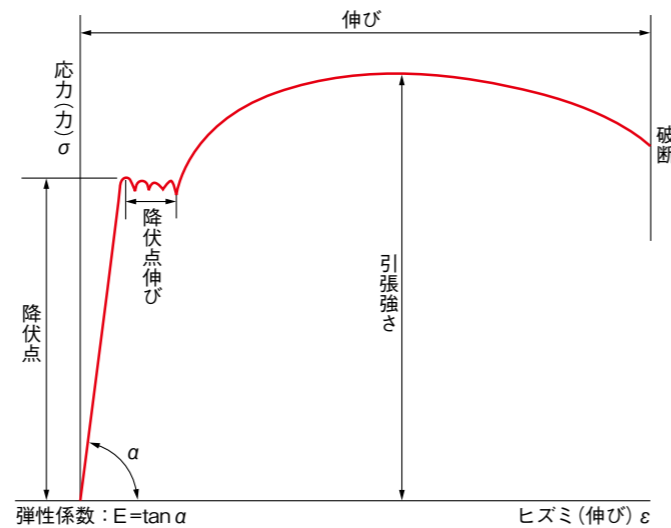
試験片としては、一般にJIS 5号が使用されます。



L: 標点距離 50mm
 W: 幅 25mm
 P: 平行部の長さ 約 60mm
 R: 肩部の半径 20~30mm 以上
 t: 厚さ もとの厚さのまま

引張試験の結果からプレス成形性を判定する多くの情報が得られます。

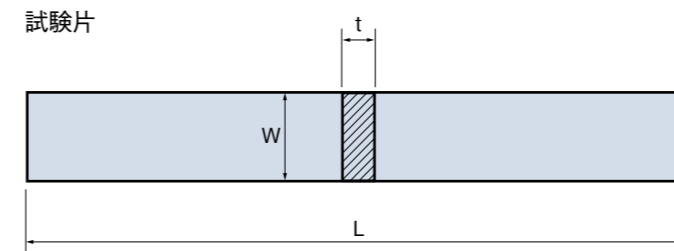
- 引張強さ TS: 材料の破断強さを示します。
- 降伏点 YP: 低いほどよい形状が得られます。
- 降伏比 YR: (降伏点/引張強さ)
低いほど張出し成形が容易です。
- 伸び EI: 大きいほど成形性が良好です。
- 加工硬化係数 n 値: (応力-ひずみ曲線を $\sigma = c\epsilon^n$ と近似したときの n の値)
大きいほど張出し成形が容易です。
- ランク・フォード値 r 値: $\left(\frac{\ln(w_0/w)}{\ln(t_0/t)} \right)$ w_0, w ... 引張前後の幅 t_0, t ... 引張前後の厚さ
大きいほど絞り性が良くなります。



(2) 曲げ試験

鋼材の曲げ加工を判定するための曲げ試験は、通常つぎの方法で行います。

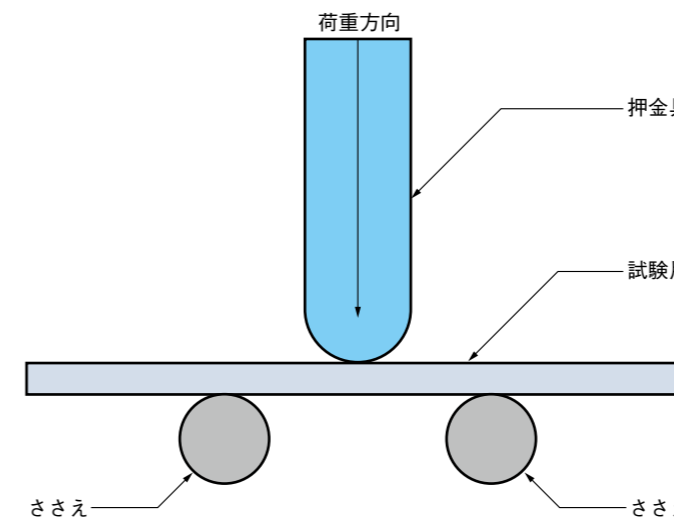
試験片としてはJIS 3号が使用されます。



L: 長さ 150mm 以上
 W: 幅 15mm 以上
 t: 厚さ もとの厚さのまま

曲げ試験は、試験片を2個のささえに載せ、その中央部にある定まった曲げ半径を有する押金具を当て、徐々に荷重を加え規定角度まで曲げた後、試験片わん曲部外側のさげきず、その他の欠点の有無を観察して決定します。

冷延鋼板の場合、曲げ角度は180°です。



(3) 硬さ試験

鋼材の硬さは、強度、絞り性などの鋼材の性質とある程度の関係が認められ、測定が比較的容易ですので、これらの性質を推定するのに利用されます。

冷延鋼板の硬さ試験は、通常ロックウェル硬さ試験方法、ロックウェルT硬さ試験方法、または、ピッカース硬さ試験方法により行います。なお、その他の硬さとの比較は硬さ換算表をご参照ください。

ロックウェル硬さ試験方法および ロックウェルT硬さ試験方法

鋼球の圧子を用い、まず基準荷重を加えて押し、ひきつづき試験荷重になるまで荷重を増加し、再び基準荷重にもどしたとき、前後2回の基準荷重におけるくぼみの深さの差から、硬さを算出します。

ロックウェル硬さ試験では、BスケールまたはFスケールからロックウェル硬さを読みとります。ロックウェル硬さBスケールは直径1.5875mmの鋼球を圧子とし、基準荷重を98.07N、試験荷重を980.7Nとした場合です。

試験荷重を588.4Nとした場合がロックウェルFスケールです。

ロックウェルT硬さ試験では30Tスケールが用いられます。ロックウェルT硬さ30Tスケールは直径1.5875mmの鋼球、または超硬合金球を圧子とし、基準荷重を29.42N、試験荷重を294.2Nとした場合です。

比較的厚い鋼板 (0.8mm 以上) の測定にはBスケールが、薄い鋼板の測定には、Fスケールまたは30Tスケールが用いられます。

ピッカース硬さ試験方法

対面角が136°のダイヤモンド四角スイ圧子を用い、試験面にピラミッド形のくぼみをつけたときの荷重を、永久くぼみの対角線の長さから求めた表面積で除した商をいい、つぎの式で算出します。

$$Hv = 0.1891 \frac{F}{d^2}$$

Hv: ピッカース硬さ (N/mm²)
 F: 荷重 (N)
 d: くぼみの対角線の長さの平均 (mm)

質量換算表

■ シート質量換算表

板厚 (mm)	幅×長さ (mm) 単位質量 kg/m ² 呼び名	単位kg								
		762×1829	762×2438	762×3048	914×1829	914×2438	914×3048	1219×1829	1219×2438	1219×3048
0.23	1.806	2.52	3.36	4.20	3.02	4.02	5.03	4.03	5.37	6.71
0.25	1.962	2.74	3.65	4.56	3.28	4.37	5.47	4.38	5.83	7.29
0.26	2.041	2.85	3.79	4.74	3.41	4.55	5.69	4.55	6.07	7.58
0.29	2.276	3.17	4.23	5.29	3.81	5.07	6.34	5.08	6.76	8.46
0.30	2.355	3.28	4.38	5.47	3.94	5.25	6.56	5.25	7.00	8.75
0.32	2.512	3.50	4.67	5.84	4.20	5.60	7.00	5.60	7.47	9.33
0.35	2.748	3.83	5.11	6.38	4.59	6.12	7.66	6.13	8.17	10.2
0.40	3.140	4.38	5.83	7.29	5.25	7.00	8.75	7.00	9.33	11.7
0.45	3.532	4.92	6.56	8.20	5.91	7.87	9.84	7.88	10.5	13.1
0.50	3.925	5.47	7.29	9.12	6.56	8.74	10.9	8.75	11.7	14.6
0.55	4.318	6.02	8.02	10.0	7.22	9.62	12.0	9.63	12.8	16.0
0.60	4.710	6.57	8.75	10.9	7.88	10.5	13.1	10.5	14.0	17.5
0.65	5.102	7.11	9.48	11.9	8.53	11.4	14.2	11.4	15.2	19.0
0.70	5.495	7.66	10.2	12.8	9.19	12.2	15.3	12.3	16.3	20.4
0.75	5.888	8.21	10.9	13.7	9.84	13.1	16.4	13.1	17.5	21.9
0.80	6.280	8.75	11.7	14.6	10.5	14.0	17.5	14.0	18.7	23.3
0.85	6.672	9.30	12.4	15.5	11.2	14.9	18.6	14.9	19.8	24.8
0.90	7.065	9.85	13.1	16.4	11.8	15.7	19.7	15.8	21.0	26.3
0.95	7.458	10.4	13.9	17.3	12.5	16.6	20.8	16.6	22.2	27.7
1.00	7.850	10.9	14.6	18.2	13.1	17.5	21.9	17.5	23.3	29.2
1.20	9.400	13.1	17.5	21.9	15.8	21.0	26.2	21.0	28.0	35.0
1.40	10.99	15.3	20.4	25.5	18.4	24.5	30.6	24.5	32.7	40.8
1.60	12.56	17.5	23.3	29.2	21.0	28.0	35.0	28.0	37.3	46.7
1.80	14.13	19.7	26.3	32.8	23.6	31.5	39.4	31.5	42.0	52.5
2.00	15.70	21.9	29.2	36.5	26.2	35.0	43.7	35.0	46.7	58.3
2.30	18.06	25.2	33.6	42.0	30.2	40.2	50.3	40.3	53.7	67.1
2.60	20.41	28.5	37.9	47.4	34.1	45.5	56.9	45.5	60.7	75.8
2.90	22.76	31.7	42.3	52.9	38.0	50.7	63.4	50.8	67.6	84.6
3.20	25.12	35.0	46.7	58.4	42.0	56.0	70.0	56.0	74.7	93.3

備考：単位質量とは、鋼板表面（片面）の単位面積に対する質量です。

■ コイル質量換算表

コイル外径		質量係数 (kg/mm)	
mm	(in)	コイル内径 508mm	コイル内径 610mm
610	(24)	0.69	—
650		0.99	0.30
700		1.40	0.71
725		1.62	0.93
750		1.84	1.15
762	(30)	1.95	1.26
775		2.07	1.38
800		2.31	1.62
825		2.55	1.86
850		2.80	2.12
875		3.07	2.38
900		3.33	2.65
914	(36)	3.49	2.81
925		3.61	2.92
950		3.89	3.21
975		4.18	3.49
1000		4.48	3.79
1016	(48)	4.68	3.99
1025		4.79	4.10
1050		5.10	4.41
1075		5.42	4.73
1100		5.75	5.06
1125		6.08	5.40
1150		6.43	5.74
1175		6.78	6.09
1200		7.14	6.45
1219		7.42	6.73
1225		7.50	6.82
1250		7.88	7.19
1270	(50)	8.18	7.50
1275		8.26	7.57
1300		8.65	7.96
1325		9.04	8.36
1350		9.45	8.76
1375		9.86	9.17
1400		10.28	9.59
1450		11.14	10.45
1475		11.58	10.89
1500		12.03	11.34
1524	(60)	12.47	11.78
1550		12.95	12.26
1575		13.42	12.73
1600		13.90	13.22
1625		14.39	13.70
1650		14.88	14.20
1675		15.38	14.70
1700		15.89	15.21
1725		16.41	15.72
1750		16.94	16.25
1775		17.47	16.78
1800		18.01	17.32
1829	(72)	18.64	17.95

係数はコイルの幅1mm当たりの質量を表わす。

計算例：コイルの内径 610mm (24")

コイルの幅 1524mm

コイルの外径 1300mm

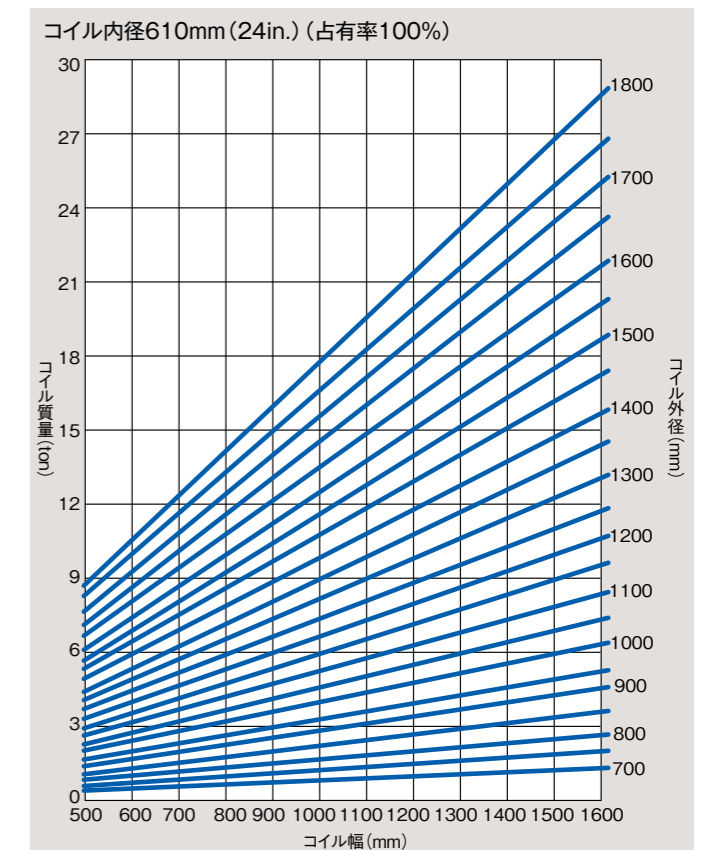
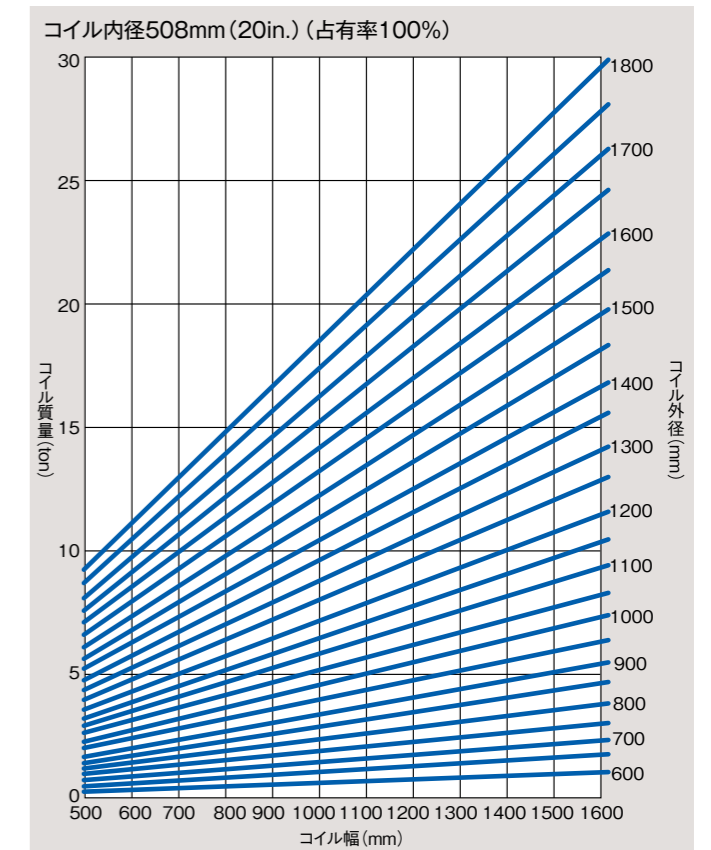
の coils の質量を求める。

上表より外径1300mm、内径610mmの条件の係数 [7.96kg/mm] を求める。

7.96 × 1524 = 12131.0kg となる。

備考：上表は、鋼板の比重7.85、占有率98%の条件で作成してある。

■ コイル質量と板幅関係図



ご注文の手引き・連絡先

ご注文に際しては以下の事項を確認のうえ、ご連絡ください。

- 1 規格 ご使用目的、加工の程度、加工の方法等に応じて、適切な規格を選択してください。
- 2 寸法 厚さは原則として、0.1mm単位、幅・長さは1mm単位でお受けします。
- 3 梱包単位 シート材：通常2トン以上を標準としています。
コイル材：通常5～20トンの範囲で製造しています。
最大単質量（必要なら最小単質量も）をご指定ください。
- 4 コイル内外径 内径＝508mm(20")または610mm(24")を標準としております。
- 5 調質区分 標準調質または4つの調質の中から1つを選びご指定ください。
- 6 塗油 普通は防錆油を塗布しております。
- 7 外観品質 外観品質について、通常切板では上面、コイルでは外側面を保証します。
- 8 耳仕上げ ミルエッジ、スリットエッジのどちらかをご指定ください。
- 9 溶接部 冷延コイルでは通常溶接部を含みます。この部分のご使用时、除去いただく方が良いのですが、この作業が困難な場合は溶接部混入不可をご指定ください。
- 10 その他 ご使用の用途や加工方法等の条件をお知らせください。不具合の発生した場合は不具合品サンプルを採取し、不具合の発生したコイルの検査番号、またはコイル番号をお知らせください。

●ご使用上の注意

- 冷延鋼板のエッジ部は非常に鋭利です。取り扱いの際には保護具を着用するなどの安全対策をお願いします。
- 防錆油を塗布していても、水濡れ、結露などにより錆が発生しますのでご注意ください。

●お問い合わせは

薄板営業部

東京本社 (03) 5739-6186
大阪支社 (06) 6206-6248
名古屋支社 (052) 584-6161
中国支店 (082) 258-5303
九州支店 (092) 451-6011

薄板商品技術室

東京本社 (03) 5739-6272
大阪支社 (06) 6206-6329
名古屋支社 (052) 584-6156
中国支店 (082) 258-5303
九州支店 (092) 451-6011



株式会社 神戸製鋼所

鉄鋼アルミ事業部門

神戸本社	〒651-8585 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通2丁目2-4	電話 (078) 261-5111
東京本社	〒141-8688 東京都品川区北品川5丁目9-12	電話 (03) 5739-6000
大阪支社	〒541-8536 大阪府大阪市中央区備後町4丁目1-3 (御堂筋三井ビル)	電話 (06) 6206-6111
名古屋支社	〒451-0045 愛知県名古屋市西区名駅2丁目27-8 (名古屋プライムセントラルタワー)	電話 (052) 584-6111
北海道支店	〒060-0004 北海道札幌市中央区北四条西5丁目1-3 (日本生命北門館ビル)	電話 (011) 261-9331
東北支店	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1丁目2-25 (仙台NSビル)	電話 (022) 261-8811
北陸支店	〒930-0858 富山県富山市牛島町18-7 (アーバンプレイス)	電話 (076) 441-4226
四国支店	〒760-0017 香川県高松市番町1丁目6-8 (高松興銀ビル)	電話 (087) 823-7222
中国支店	〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里3丁目5-7 (GRANODE 広島)	電話 (082) 258-5301
九州支店	〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街1-1 (新幹線博多ビル)	電話 (092) 431-2211
沖縄支店	〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち1丁目3-31 (那覇新都心メディアビル西棟)	電話 (098) 866-4923